

ローリングが子ども時代を過ごした街を紹介する並木教授



世界的ベストセラーを題材にした文学部50周年記念企画「ゴシック・ファンタジー Harry Potter の正しい読み解き方教えます」が6月19日、生田キャンパスで開催された。10代に人気の高い英国のファンタジー小説を、文学部の3教員をはじめ5人の研究者が異なる観点から連

「ハリリー・ポッター」の魅力を紹介
「冬物語」「マクベス」の関連を解説。ギリシヤ神話や聖書、現代的な要素を組み合わせた重層的な作品世界を明らかにした。

そのほか、ローリングが大学で専攻していた仏文学やゴシック文化の影響、映画シリーズのヒットの要因について紹介された。

参加者の中には中学生の姿も。大のハリポタ・ファンで英語版も持っているという中2の女子は「シェイクスピアの影響があることは知っていましたが、マクベスの影響を詳しく教えてもらえて楽しかった。先生方の授業をたくさん聞けてうれしです」と熱心にノートを取っていた。

海外留学フェア
国際交流や留学プログラムについて理解を深める第13回海外留学・国際

11大学37人参加
夏期日本語プログラム
外国人の日本語習得のための「夏期日本語・日本事情プログラム」が6月17日から始まった。

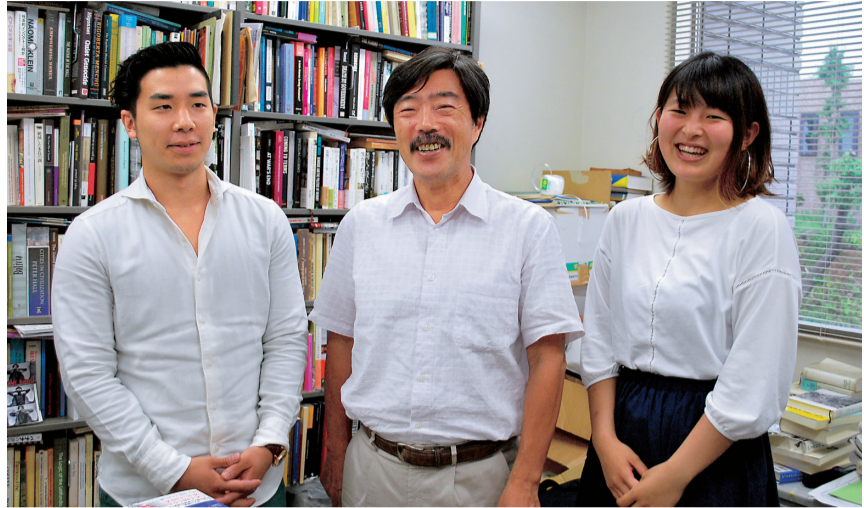
ウエルカムパーティー
自己紹介(6月20日、生田キャンパス)

浴衣姿で七夕パーティー
(6月29日、国際交流会館)

交流フェアが7月2日、生田キャンパスで開かれ延べ約380人の学生が参加した。

経済学部2学生 中南米に留学

メキシコ、ペルー、グアテマラ探求へ



安藤さん(左)、道満さん(右)と留学のアドバイザーをする狐崎教授

経済学部の2学生が今夏、中南米各国に留学する。学生たちは「留学を通じて世界に羽ばたきたい」と意気込む。

経済学部4年次の安藤聡希さんは、官民協働で留学を支援する「トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム」事業で8月からペルー、グアテマラ2カ国へ飛ぶ。「トビタテ」プロジェクトでの専大生の資格は安藤さんが初。

「留学は現地を見て視野を広げ、日本を客観的に考えるチャンス。同時に良い先生を探し、仲間を得ることも大切だ。またスペイン語は使用されている国・地域数の多さに日本人の話者が少ない。留学で力をつけてほしい」

「トビタテ!留学」 安藤聡希さん

「メキシコと日本の懸け橋になりたい」と話す道満蘭華さん(国際経済学科3年次)。日本とメキシコ両政府による「日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画」の派遣留学生として8月から1年間、メキシコ国立自治大学(UNA

「メキシコのお母さんが『ここの文化や暮らしはスペイン語でないと理解できない』と鍛えてくれたおかげで振り返る。労働コストが安定しているメキシコは、自動車

「日墨研修計画」 道満蘭華さん

メーカーをはじめ日本企業の進出が著しい。所属の望月宏ゼミでは持続可能な経済成長を目指し環境面、教育面からアプロ



スペイン語

井上 幸孝 文学部教授

外国語を学ぶ際、「現地人みたいにカッコよく話したい」と思う人も多いことでしょう。でも、スペイン語は、世界各地(ヨーロッパ、アフリカ、北米、中米、カリブ、南米)で4億以上の話者がいて、「現地人」が多様なのです。

ナチュラルなスペイン語?

たとえてみると、もし日本が複数の独立国家だったならどうでしょうか。その場合、唯一の「標準語」はなく、関西国の首都大阪では「関西語」が、東北国の首都仙台では「東北語」が標準語で(当然、それらは関東国の首都東京の「関東語」とは異なります)、「正しい」日本語が複数存在するわけです。

こんな具合で、スペイン語圏には各国で異なる「標準的スペイン語」が存

在します。「ネイティブみたいに話したい」と学習者が思っても、その「ネイティブ」が実に多様なわけです。少し前、世界遺産マチュ・ピチュ(写真)に行きましたが、この遺跡やその手前の観光都市クスコでは世界各地のスペイン語を耳にしました。少し聞いただけで、アルゼンチン人、スペイン人、メキシコ人……などと判明してしまうわけです。

こう言うと、日本人学習者は、何を基準にすべきか困惑するかもしれません。でも、ことばは唯一の答えを持つ数式とは違います。スペイン語の世界には多様な現実が存在しています。ただどこかの国の「ネイティブみたいに話す」のではなく、「スペイン語の多様性が理解できる日本人スペイン語話者」になる方が、ずっと「カッコいい」のかもしれない。

※短縮版:全文はCALL教室ホームページで